

ギャンブル等依存症とは

依存症は、本人の性格や意思の弱さによるものではなく、欲求をコントロールできなくなる脳の病気とされ、誰でもなり得る病気ですが、早期に適切な対応をすることで回復する病気といわれております。本人や家族、知人が依存症に対して正しい知識を持つことが、当事者の治療や支援に重要です。

国民の間に広くギャンブル等依存症関連問題に関する関心と理解を深めるため、毎年5月14日から5月20日までを「ギャンブル等依存症問題啓発週間」と定め、関係府省庁、地方公共団体などと連携し、啓発事業の実施及び広報の推進を呼びかけています。

ギャンブル等依存症の状況と県の取組 (令和7年3月計画策定)

ギャンブル等依存症は、本人だけでなく、家族などの日常生活や社会生活にも深刻な影響を及ぼす可能性があります。依存症に陥ると、多重債務や貧困といった経済的問題に加え、家庭不和や家庭内暴力(DV)・虐待、自殺、犯罪などの社会的問題、さらにはうつ病などの健康問題を引き起こすことがあります。

県では、令和7年3月に「沖縄県ギャンブル等依存症対策推進計画」を策定し、以下の取り組みを進めていきます。

- ①正しい知識の普及及びギャンブル等依存症を防止する社会づくり
- ②必要な支援につなげる相談・支援体制の整備
- ③医療の質の向上と連携の促進
- ④円滑に回復・社会復帰できる体制整備

オンラインカジノは違法です

近年、オンラインカジノへのアクセスなどの増加とこれに伴う依存症の問題が強く指摘されており、国では関係省庁が連携し、取り締まりの強化を行うほか、オンラインカジノの違法性などの周知、アクセス対策、決済手段対策を実施することとしています。

相談体制、回復・社会復帰体制

県では、地域の実情に応じて、市町村や保健所、総合精神保健福祉センターなどでギャンブル等関連問題の相談支援の場所を確保し、医療機関その他幅広い関係機関や自助グループおよび民間団体の連携により、

ギャンブルが
やめられない、止められない、苦しい！
それは、ギャンブル等依存症
かもしれません

**ギャンブル等依存症は
回復できます**

一人で悩まず、家族で悩まず、まず！相談機関へ
ギャンブル等依存症問題啓発週間
5月14日～5月20日

依存症対策全国センター 相談窓口

ギャンブル等依存症を克服された方の体験談

内閣府 官民ギャンブル等依存症対策推進本部事務局

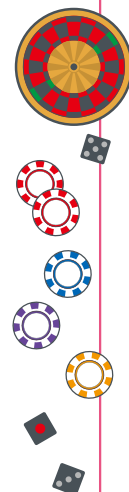
日本国内ではオンラインカジノに
接続して賭博を行うことは
犯罪です！

「知らなかった」では
済まされません！

賭博罪
賭博をした者は、
6ヶ月以下の懲役
又は罰金

常習賭博罪
常習して賭博を
した者は、5年
以下の懲役

警察庁・消費者庁



専門的な治療、社会復帰の支援につながる相談・支援体制づくりを行っています。

特に、ギャンブル等依存症から回復し続けるには、自己努力だけでの回復が困難な側面もあり、自助グループ(ギャンブラーズ・アノニマス、ギヤマノンなど)をはじめとする民間団体の活動が重要な役割を担っています。

地域保健課
ホームページ

県内における依存症
関連の自助グループ
の案内ページです。

問い合わせ

地域保健課

電話：098-866-2215

FAX：098-866-2241



今日の暑さ
指数を確認
してみよう！